

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

平成20年度以前取得の固定資産及びリース資産（所有権移転リース）は、定率法によっている。
リース資産（所有権移転外リース）は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入単価をもって、期末棚卸資産の単価を計算する最終仕入原価法

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する期間の額を計上している。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,682,414	3,601,533	3,682,414	0	3,601,533

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

- ① リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理により行っている。
- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引（リース資産）は、スポーツトラクターE-224H型である。
所有権移転ファイナンス・リース取引（リース資産）は、瞬間湯沸器（金属製）である。

未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
スポーツトラクターE224H	537,278	1	537,279
電気瞬間湯沸器（金属製）	100,198	552,978	653,176
小型貨物(鹿児島400と5483)	675,400	337,700	1,013,100
未経過リース料期末残高相当額	1,312,876	890,679	2,203,555

当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額(単位:円)

支払リース料	1,474,128
減価償却費相当額	1,696,682
支払利息相当額	111,368

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
合 計	50,000,000	0	0	50,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産 (スポットラクター E-224H型)	4,605,400	4,068,121	537,279
リース資産 (電気瞬間湯沸器(金属製))	1,002,240	349,064	653,176
建物付属設備資産 (理事長室パーテーション)	605,000	235,277	369,723
リース資産(公用車) (鹿児島400と5483)	1,688,500	675,400	1,013,100
小計	7,901,140	5,327,862	2,573,278
合 計	7,901,140	5,327,862	2,573,278

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上の 記載区分
補助金等						
運営補助金	薩摩川内市	0	236,115,000	2,251,743	233,863,257	一般正味財産
文化事業推進補助金	薩摩川内市	0	4,000,000	372,496	3,627,504	一般正味財産
合 計		0	240,115,000	2,624,239	237,490,761	

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産の普通預金利息計上による振替額	5,000
合 計	5,000